

今年も、地域の皆さまのご指導によって、しめ縄づくりができました。



# お祝い

No.253  
平成 26 年 1 月 10 日発行  
社会福祉法人円福会  
円福寺愛育園  
園長 藤本光世

## 世のため人のために

みなさん あけましておめでとうございます。

皆さまにとってどんなお正月でしょうか。円福寺のお正月は、二日の大黒天大祭です。村中の皆さまが元旦の午後から準備をしてくださり、円福寺は一気に圓福大黒天のお寺になります。境内には大黒天の赤い旗が林立し、それは西横田の大通りを信号まで 200 メートルほども続くのです。本堂や庫院には赤い幔幕が張り巡らされ、波切不動明王をはじめとしたおまじりのスポットに看板が出され、参拝の皆さまをお迎えします。

今年は、雪の大祭になりました。雪の中を大勢の皆さまが初詣においでになって下さいました。愛育園の子ども達も参拝に来てくれました。そして、愛育園の大勢の職員がご祈禱を申し込んでくれました。

大黒天大祭は、31 年前に父が「地球みんなで幸せに」を祈願して開祭しました。一食一円を貯蓄した SABA のご浄財は円福友の会を通して発展途上国支援へ、ご祈禱のご浄財は円福寺愛育園の子ども達の為に生かされるのです。お祭りを支えてくださる、西横田、東横田の皆さまはボランティアです。見返りを求めないおもてなしの心こそ、日本人の原点であり、地域のつながりになります。まさにその実践です。今年初めておいでになられた県議会議員の鈴木清先生が、村の人の流れるような、無駄のない動きに驚いて、ここにこそ日本人の原点があるとお話になりました。きっと、どこにもない、世界に誇れるお祭りなのでしょう。

円福寺愛育園の職員に、円福大黒天祭の意義を話すと、大勢の職員がご祈禱の申し込みをしてくれました。嬉しいことでした。愛育園の職員に「世のため人の為に」の父の心が伝わったと思いました。このように、心が変わってくると、自然と仕事に対する姿勢も変わってくるのです。それは、無意識のうちになされて、気づかないのです。時間が経って、ある時、ふと変わった自分に気づくのです。

昨年は、敬老の日に西横田の長栄会の皆さまに、子ども達が歌などのプレゼントをいたしました。

園長 藤本光世



そして、12 月には老人ホームを訪問して、お年寄りの皆さまに歌などのプレゼントをして、喜んでいただきました。これまで、愛育園の子ども達は何かしてもらっただけで、それが当たり前と思ひこみ、社会の皆さまに喜んでいただく活動が無かったのです。実は、人に喜んでいただく活動こそ、心を豊かにするのです。そのことが、お年寄りに喜んでいただいている子ども達を見て分かりました。

職員も、きっと大黒天祭に参加し、ご祈禱をお願いし、SABA の運動に参加し、世のため人のために尽くす活動をすることによって、心が豊かになるでしょう。そして、それは自信と誇りにつながるでしょう。このことがあって、初めて自信と誇りを持った子ども達を育てることにつながると思います。

## 行事

### 長野千曲ライオンズクラブ様主催 餅つき大会

副園長 青谷 幸治

今年も 12 月 7 日に長野千曲ライオンズクラブ様のご厚意により愛育園の児童のために餅つき大会をさせていただきました。もち米を蒸かし、臼と杵でお餅をつく。昔ながらのやり方でとても風情があり、いよいよ正月を迎えるなという気持ちになりました。

準備から片付けまでライオンズの皆様と一緒に中高生もお手伝いさせていただきました。昼食会では、きな粉餅、おろし餅、あんこ餅とたくさんいただきました。また豚汁は格別においしく、みんなおかわりをしていました。最後にビンゴゲームをやって児童一人一人にクリスマスプレゼントをいただきました。

毎年、愛育園の児童のために気持ちのこもった取り組みをしていただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

長野千曲ライオンズクラブの皆様にとって来年もまた良い年になりますようご祈念申し上げます。

### 高齢者住宅「ちくま」を訪問して

副園長 青谷 幸治

12 月 21 日に児童 13 名でおじゃましました。

代表の江口様と園長先生のお話から日ごろ外に出る機会の少ない利用者さんのために児童との交流ができないかということでした。時期的にクリスマスも近いこともあり、高齢者住宅ちくまのクリスマス会に参加させていただきました。当園児童から歌を 2 曲と幼児さんから搾り染めのハンカチをプレゼントしました。



おじいちゃん、おばあちゃんが嬉しそうに歌を聴いていただきました。プレゼントも大事に受け取ってもらいました。

児童のみんなも大きな声で歌い、呼びかけも 6 年生の男の子が先頭に立ち進めてくれました。30 分の訪問ではありましたが、児童の一生懸命に取り組む姿と利用者さんやスタッフの皆様がとても楽しく、また嬉しそうに児童の様子を見ていただいたことで訪問して良かったなと思いました。

愛育園の児童は、いつもやってもらうことばかりで感謝することを学ぶ機会がありません。今回、このような機会をいただき人に何かやってあげることや喜んでいただけることを増やし、心を育てていきたいと思います。

高齢者住宅「ちくま」の皆様ありがとうございました。また訪問させていただきます。

### 箸ピー大会箸づくり

副園長 青谷 幸治

1 月に園長先生に国際箸学会の講演依頼があり、東京で愛育園の児童の箸ピー大会の様子をお話されたことをきっかけに my 箸をつくらうと決まりました。

1 2 月 1 5 日に国際箸学会の方が 9 名愛育園を訪問され、来年行われる箸ピー大会に使用する競技用の箸を児童と一緒に作っていただきました。児童もいろんなアイデアを持ち寄って、カラフルな my 箸を作ることができました。数年前であれば児童は落ち着きなく、すぐにウロウロとして飽きてしまいます。しかし、今は幼児さんも一生懸命取り組み、完成した箸を見てニコニコしていました。来年で 4 回目を迎える箸ピー大会に華を添えていただきました。世界にひとつだけの my 箸を大事にし、箸ピー大会を盛り上げていきたいと思います。

国際箸学会の皆様ありがとうございました。また来年、第 4 回箸ピー大会のご参加をお待ちしております。

### しめ縄作りにクリスマス…12 月は盛りだくさんでした

あおぞらホーム 保育士 山口 亮

12 月は小学生にとってはソワソワしたりワクワクしたりする毎日の連続でした。12 月 17 日には円福寺愛育園の体育館で地区の方によるしめ縄作りが行われました。中には毎年やっている児童もあり、簡単にしめ縄を作り上げてしまう 6 年生や熱中して取り組む 3 年生の Y くん姿がありました。また今年しめ縄作りが初めてとなる 1 年生の S ちゃんも難しい組み方でしたが作り上げることができました。地域の方に「まだ編み方が甘い！」と言われながら何度も編み直しをしている子ども達も何度もチャレンジして、しっかりとしたしめ縄を作りあげました。終わった後にしめ縄には「悪を家の中に入れないようにする意味がある」と教えてもらった子ども達は早速自分の部屋の中に飾ったりしてしめ縄作りを楽しみました。



そして、12 月は待ちに待ったクリスマスの時期です。愛育園の食堂にも大きなクリスマスツリーが設置されました。クリスマスが近づいたある日…ツリーの隣にはサンタさん行きのポストが設置され子ども達は大喜びです。サンタさんからの手紙と一緒にプレゼントを書くハガキも一緒に届いた子ども達は自分の欲しい物をニコニコしながらサンタさん行きのポストに丁寧に書いたハガキを投函して当日を待ちました。

クリスマス前のある日、青谷先生からサンタさんに似せた人型の人形が家につかまっている写真を見せてもらいました。これが愛育園にもあったらプレゼントをもらった子ども達が見てもっと喜ぶのではないだろうか…と考えをいただき、職員や子どもにサプライズで早速作り始めました。まず自分の家に余っていた針金でまずは人の形に骨組みを組み、配送などで使うクッションの廃材を



いただき人の形にくみ上げていき、最後にサンタスーツを着せて完成です。来る 12 月 25 日の雪が降る深夜、子どもが寝静まった後に見える位置にサンタを設置します。朝、子ども達がお参りを終えて外に出るとそこには今にもベランダから中に入ろうとしているサンタさんが居て驚きの声があがりました。一部の幼児さんには少し怖かったのか泣いてしまう子どもも居ましたが、「サンタさんが居るー！」と小学生だけでなく、中高生も喜ぶそんな姿を見ることができました。その後は、お昼近くまで飾っていただき多くの地域の方にも見ていただきました。ただ単にクリスマスを過ごすだけでなく、たくさんの喜びや驚きのあるクリスマスが提供できて私自身も心が温かくなるようなクリスマスが過ごせました。

(山口保育士は、子ども達がサンタさんを見てどう反応するだろうかと、前夜に遅くまで設置して、25 日の朝はまだ暗いうちにベランダに隠れて見ていたのです。6 時半のまだ薄暗いところに食事の為に児童棟を出た幼児さんが、暗闇の中に見たサンタさんに驚いている姿を観て、そして、ある幼児さんは怖くて泣いた姿を観て、きっと「してやったり」と嬉しかったのでしょう。それが「心が温かくなる」という言葉に表れたのでしょう。職員が子ども達の為に一生懸命に頑張ってくれている姿を観て、私は本当に嬉しかったのです。)

### 『クリスマスツリー&お菓子の家作り』

栄養士：桐山 佳那

「先生、今年は私も作りたんだけど…」と数ヶ月前からしきりに頼んでくる高校 1 年生の H さん、「今年は何日にやるの？バイト休みだといいなあ…」とその日を待ち遠しくしている T さん、そんな子供達の“やる気”に背中を押されて今年も楽しい楽しいクリスマスの飾りクッキー作りを行いました。

大きなもみの木に飾るクッキーは小学生を中心に年齢関係なくやりたい子を集めて、いろいろな型抜きを使って作りました。「先生！みてみて！！」と次々に自信作を見せてくれる子供達。





そんな中、午前中からひとりもくもくと作業を進めている T さん。

T さんは初めてこのクリスマスの飾り用クッキー作りを始めた頃から、私と一緒にお菓子の家を作ってきた子供です。T さんにとっては今年で最後になってしまいます。

「先生！今年はどんな家にする？」「私はこうゆう形の家にしたいんだけど…」と自分らしいアイデアもでてくるようになりました。毎年時間を気にしながらこ

こがうまくいかないと悪戦苦闘してることが多かった T さんですが、今年はペース配分もバッチリで、昨年よりさらにレベルアップした素敵なお菓子のお家が出来上がりました。

そして、今年は幼児さんもお手伝いをしてくれました。小学生達を作ってくれたかわいい飾りつけ用のクッキーが焼きあがると、そこにヒモを通して幼児さんがもみの木に飾ってくれました。下におっちなないように慎重に慎重に…「お願いね！」という言葉がけに使命感を燃やして一生懸命お手伝いしている姿が微笑ましかったです。

みんなで協力して飾ったもみの木は、とっても華やかでおいしい匂いがプンプンする夢いっぱいのクリスマスツリーとなりました。

#### ☆クリスマス☆ まごころホーム長 石崎 早織

今年も子どもたちが楽しみにしているクリスマスの季節がやってきました。

突然 14 日にサンタさんから手紙が届き、素敵なメッセージカードと素敵なポストが食堂のツリーの下へ置かれていました。カードには子ども一人一人が欲しいおもちゃを一生懸命記入し、「サンタさんちゃんとくれるかな〜？」と心配と期待とでドキドキしながらポストへカードを入れていました。24 日は朝から子どもたちはソワソワ。「まだサンタさん来てないね」なんて話をしながら夜を迎え、おいしいご馳走をお腹いっぱい食べ、おいしいケーキも食べ大満足！！夜は保育士から「早く寝たほうがサンタさんくるよ〜？」と言われ、早く寝る子もいれば、なかなか寝付けない子もいました。そのおかげでサンタさんは大変。(笑)

25 日の朝子どもたちが起きるとホームや枕元に大きなプレゼントがそれぞれ置かれ、朝からテンション MAX！！いつも以上に着替えるスピードも速く、早速プレゼントを開けてみると・・・。「やった！！お願いしてあったのがきた〜!!」と次々と満面の笑顔で報告してくれる子どもたち。その笑顔を見てるだけで私も朝から元気を貰いました。

プレゼントも確認したところで、みんなでご飯を食べに行こうと外に出ると……。



なんと！！サンタさんが図書館の柵に足をかけている姿が。幼児さんにとってはビックリしていましたが、小学生・中高生はその姿を驚きと、笑顔が溢れていました。

今年の愛育園のサンタさんはあわてんぼうなサンタさんでした。



#### 課外活動 2 学期を振り返って

保育士 酒井悠紀

9 月 1 日から始まった 2 学期の課外活動。2 学期は計 8 回の活動となりました。敬老の日の会のクッキー作り、茶臼山動物園まで歩いて行った秋の遠足、自転車で公園まで出かけたり、ダンボールを使ってダンボールハウスを作ったりと、1 学期にも負けない、アグレッシブな活動となりました。

とくに印象に残っているのは、秋の遠足でした。1 年生から 5 年生までの子ども達が同じ距離を歩き、ましてや急な坂道の連続、1 人くらいは歩けなくなる子どもが居るのではないかと考えていましたが、誰一人諦めることなく歩ききったことが本当に良かったと思います。その後の動物園も閉園ギリギリまで楽しむことができました。

しかし、全てが上手くことばかりではありませんでした。ダンボールハウス作りの活動で、子供同士のトラブルが起き、その腹いせにダンボールハウスを破壊してしまうという事件も起こりました。課外活動のルールや、人の気持ちを無視した、卑怯な行為に、課外活動のあり方を見直しました。そして子どもにも厳しく話をすることもありました。この経験は、今後の課外活動に活かさなくてはならないと強く感じました。

さて 3 学期は何をしようかと、日々考えさせられる課外活動係。子ども達に飽きがこないように、そしてより良い経験になるように、試行錯誤しながら進めて行きたいと思っています。

#### 年末大掃除

保育士 酒井悠紀

12 月 23 日、1 年の感謝の気持ちを込め、愛育園の大掃除が実施されました。この日を迎えるにあたり、子ども達には何度も何度も話をしてきました。

当日になり、掃除の開始を告げると、何人かの男の子が「先生が来る前に、自分の部屋の掃除終わった！！」と話をしてくれます。半信半疑で部屋をのぞいてみると、不要物は片付けられ、布団は干されているではありませんか。掃除開始前に、掃除をしていたのです。普段の様子からは想像もできません。しかし、部屋はきれいに整理整頓されていました。

多くの子どもは開始の放送で掃除に取り掛かります。不要物を次々とゴミ袋へ入れ、隅々までほ

うきをかけ、押入れの中、タンスの中も整頓します。ほとんどの児童が自発的に動いており、職員の手助けが必要な児童はほとんどいません。数年前の大掃除を思い返してみると、自発的に綺麗にしよう！！という気持ちを持った児童は本当に少なく、職員だけがせかせかと動いていました。しかし今は違います。子ども達が主動です。子ども達の変化がとても嬉しく思います。

午前中に自室の掃除を終わらせた子ども達。昼食を挟み、今度は共有スペースの清掃へと移ります。ほうきを掃いて、雑巾をかけ、窓を拭き、「次は何をすればいい?」「どこを手伝う?」と声が飛びます。あつという間に園内はピカピカになりました。子ども達も達成感を感じたことと思います。1 日通して行われた大掃除、本当によく頑張りました。

## ホームだより

### あおぞらホーム

保育士 近藤 典雄

めっきり寒くなり、水たまりや、池に氷が張るようになり、冬もいよいよ本番となってきました。

1 2 月に入ってからさまざまな行事が行われました。千曲ライオンズクラブさんとの餅つき大会、ここでは力仕事とあって中高生の男子が大活躍しました。My 箸づくりでは、講師の方に来ていただき一から箸づくりしました。箸ピー大会で使うものとあって思い思いのデザインをしたり、長さや持ち手の部分を微妙に調整したりと真剣に取り組んでいました。年末の大掃除では新しい年を迎えるため午前中から自分の部屋の掃除をして、午後から小学生から高校生それぞれの持ち場の体育館や食堂など愛育園の中をピカピカにしました。クリスマスでは数日前から話題の中心になり、「～をお願いするんだ」「今年はサンタが来るまで起きてる」と楽しそうに話しています。当日もサンタクロースからももらったおもちゃを寝る間も離さず持っていたり、ケーキを口いっぱい頬張ったり笑顔がたえませんでした。

さあいよいよ新たな年が始まります。卒業を控え、新社会人として新しいステージに立つ子や、進級、進学する子、それぞれの目標に向かって残り三か月とわずかな時間ですが子供たちと一緒にいいスタートを切れるようにしたいと思います。

### まごころホームだより

保育士 土屋海都

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

朝晩の冷え込みが厳しく子どもたちは布団から出るのも一苦勞です。そんな中朝早くからアルバイトに行く子や、高校 3 年生は車の免許を取得するため教習所に通い始めました。初めて運転する側になりとても緊張したとよく話をしてくれます。簡単なことではないですが将来必要になってくるので頑張ってもらいたいと思います。

年末には愛育園の大掃除を職員、児童一緒にやりました。自分の部屋だけでなく、廊下や窓、トイレ、普段なかなか掃除ができないところをみんなで一所懸命やりました。小学生の子達も職員に聞きながら掃除をしてくれました。Y さんは「次どこやればいい?」と率先して動いてくれました。小学生のなかで一番年上の Y さんとてもお姉さんらしかったです。綺麗になった

ところを見て満足そうにしていました。これから冬休みに入りそれぞれ楽しい休みを過ごしてほしいと思います。

### そよかぜホーム

ホーム長 平田 愛美

明けましておめでとうございます。昨年中にはいろんなことができました。たくさんご迷惑をおかけし、たくさんのご指導・ご鞭撻のもと、なんとか無事に新しい年を迎えることができました。

12 月には、雪が降り、子どもたちは朝から大はしゃぎ、窓に顔をくっつけて窓には白い顔がいくつもできました。土手に遊びに行くと、もう我慢が出来ずに白い雪に飛び込んでいき、手を真っ赤に染めながら、雪合戦を始める子、しばらくすると泥んこ交じりの雪だるまが出来ました。また、12 月最大のイベントであるクリスマスでは、皆さまからいただいたたくさんのケーキを美味しくほおばり、豪華なメニューに子ども達の顔には溢れんばかりの笑顔がこぼれました。そして、年の瀬ということで、我がホームの幼児さんも小学生も皆で一年間お世話になった居室の大掃除、窓ふき等を行いました。今年は 3 人の年長さんもばっちりお手伝いをしてくれ、とても助かりました。不要なものは全て片付け、整理をして、心までとてもスッキリとした気が致します。おかげで良い新年を迎えられそうです。

本年もまた、ご迷惑をおかけすることあるかと思いますが、どうぞ温かく見守っていただけたらと思っております。私たち職員も、子ども達の笑顔を守っていけるよう精一杯の支援を行っていきたいと思っております。本年もどうぞよろしく願い致します。

元気いっぱいの子どもたち。雪遊びが出来るのを、楽しみにしています。

# 園内保育 ばより

2学期もあ、という間に終業式を迎え、振り返ると2学期の子の成長はまた大きく成長したよ、と感じました。

夏はプールに入り、温泉、水に慣れてくると、お風呂のように上手に泳ぐ子も増えて、今年も市民プールに行く回数が増え、普段とは違う大きなプールで泳ぎ、子供達は「できた!」という達成感を感じ、自信もついたのよ、と感じました。

秋には愛の日装かぶり、歌の発表で劇をした子や、年長さんはハンドベルで披露しました。劇やリリヤや動きの毎日コツコツ練習して、段々成長した子供達、長いレリヤで覚えた時には驚きの声や、お客さんの笑顔に包まれ、無事発表を終えたことか、喜びました。

2学期には他にも誕生会や調理実習、運動会は、沢山の行事、活動がありました。1つ1つ終えた時に子供達の成長が水うれ、行事の大切さも改めて感じました。

現在園内保育に通う子供達は13名、この13名を週2回も残りの少ないため、2学期も子供達と楽しく遊ぶ、お泊りも大切にしたい、と思っています!



# 年賀状づくり

- 12月25日に、年賀状づくりをしました。年賀状は、新しい年に「今年もよろしく」って伝える特別なお手紙なんだよ。だから相手のことを考えて書んだよ、と教えてもらい、「ママに送りたい!」「先生に送るの」と、大事な人のことを考えながら、ウマの絵に色を塗っていく子供たち。色を塗り終わったら、いもばんを押していきます。
  - 完成した年賀状は、ていねいに色が塗ってあるもの、少しだけ塗って満足してしまったもの、いもばんがうまく押せずに2つも3つも押してあるもの...など、個性が出ていました。
- みんなの思いが届きますように...



# クリスマス会

12月20日(金)にクリスマス会を行いました。クリスマス会に向けみんなで作ったリースや、1人1人クリスマスツリーを作り、サンタさんを迎える準備をしました。

まず始めにみんなで作ったクリスマスケーキ作り!! 去年はアンパンマンの大きいケーキを作りましたが、今回はなんと「二段ケーキ」に挑戦。前日に子ども達へ説明をしてもらって、「早く作りたい」「どんなケーキが出来るかな〜?」と、とても楽しみにしていました。

1段目のケーキを担当する子どもと2段目のケーキを担当する子どもに分かれて、ケーキ作りスタート!! 年長さんを中心にスポンジへ上手に生クリームをぬったり、年少さんがクリームぬりに苦戦していると、年長さんが手伝ってくれている優しい姿を見ることが出来ました。たくさんの果物をのせ、とてもおいしいケーキが完成!! ケーキが出来た所でクリスマス会の始まる♪ 「1人1人のサンタクロース」のパネルシアターをやり、「早くサンタさん来ないかな〜」と楽しみに待っている子ども達。みんな「サンタさん」と大きな声で何度も呼ぶと、鈴の音と共にサンタさん登場。嬉しそうにしている子供もいれば、少し怖れている子もいましたが...。みんなで仲良く使ってくれ!! と「おつまみセット」と「アラレール」をもらい、みんな存分に喜んでいました。最後にサンタさんへ歌のプレゼントをあげてお別れしました。昼食は調理の先生に「ごちそう」を作ってもらい、とても喜んでいました。おいしいご飯を食べた後は、みんなで作ったケーキと、シャンパンで乾杯。お腹いっぱい食べた後は、みんな満足だったようで、また来年もサンタさんが来てくれるようにお祈りして帰りました。



## 調理室だより

調理員 若林厚子

食堂にかわいいクッキーを付けた大きなクリスマスツリーが飾られ、サンタさんが来るのを楽しみにしている子供達。この日の夕飯は豪華なクリスマスメニューです。午前中から、器や下ごしらえのできる野菜に取り掛かりました。子供たちの喜ぶ顔を見たさに力が入ります。

今回のメニュー

- ・バターライス 米は3.5升研ぎました。
- ・コーンポタージュ じっくりじっくり煮込みました。
- ・ローストチキン 味の浸み込んだ肉をオーブンで焼き色に。
- ・プチグラタン かぼちゃ、ミートソース、ホワイトソース、たっぷりのチーズを乗せ、オーブンで焼き色にします。オーブンは大活躍！
- ・カナッペ クラッカーの上にケチャップとマヨネーズ、小さめな角切りチーズを混ぜたもの、スライスした大根、ミントを乗せていきます。
- ・カップサラダ クリスマスらしく絵柄のカップで食欲をそそるサラダに。
- ・みかん&チェリー 飾り切りのミカンの上にチェリーを乗せます。

そして食べ応えのあるメニューがそろいました。

お皿に盛りつけ配膳をすると「チキンだー」と子供達の声が食堂に響いてきます。

調理も忙しい一日でしたが子供たちの食べっぷりに笑みがこぼれました。